

授業科目	コミュニケーション・リハビリテーション学Ⅱ				
担当者	大根茂夫（実務経験者）・中村靖子（実務経験者）・辻郁（実務経験者）			（オムニバス）	
実務経験者の概要	大根茂夫／中村靖子（言語聴覚士として病院などに勤務しコミュニケーション障害及び嚥下障害の患者を担当した） 辻郁（作業療法士として病院や保健所で失語症や嚥下障害を有する障害者に介入した）				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

- ・神経系の基礎を復習する。大根茂夫（実務経験者）
- ・摂食嚥下障害の基礎について学び、摂食嚥下障害の方への関わり方について学ぶ。中村靖子（実務経験者）

■ 到達目標

- ・神経系の基礎知識を身につける。大根茂夫（実務経験者）
- ・摂食嚥下障害に関する必要な基礎知識を身につけ、基本的な関わり方について理解する。中村靖子（実務経験者）

■ 授業計画

- 第1回 神経系の復習① 中枢神経系：大脳、間脳 大根茂夫（実務経験者）
- 第2回 神経系の復習② 中枢神経系：小脳、脳幹、脊髄 大根茂夫（実務経験者）
- 第3回 神経系の復習③ 末梢神経系：脳神経、脊髄神経、自律神経 大根茂夫（実務経験者）
- 第4回 神経系の復習① 練習問題：国家試験問題とその解説 大根茂夫（実務経験者）
- 第5回 摂食嚥下障害とは 中村靖子（実務経験者）
- 第6回 摂食嚥下障害：チームアプローチ、評価 中村靖子（実務経験者）
- 第7回 摂食嚥下障害：訓練、食事介助 演習含む 中村靖子（実務経験者）
- 第8回 摂食嚥下障害：口腔ケアの意義と方法 演習含む 中村靖子（実務経験者）

■ 評価方法

筆記試験80% 実技のレポート20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

- ・復習を行うこと。
- ・空き時間を利用し実技練習を行うこと。

■ 教科書

書 名：不要

■ 参考図書

書 名：摂食嚥下ビジュアルリハビリテーション
著者名：稲川利光
出版社：学研メディカル秀潤社

■ 留意事項

摂食嚥下障害演習時の持ち物は追って連絡します。

■ 講義受講にあたって

臨床や国家試験に必要な知識です。積極的に取り組んでください。